

---

# 済美高等学校

校長 郷 峰男

住所 岐阜市正法寺町 3 3 電話 058-271-0345

---

1 会の名称 済美高等学校学校評議員会（第3回）

2 会の構成	評議員	藤沢 昭男	厚見自治会連合会長
		後藤 勇	厚見中学校校長
	小川 克正	中部学院大学副学長	
	田邊 博臣	済美高等学校PTA会長	
	学校側	藤 良寛	弁護士
		郷 峰男	校長
		吉田 洋造	副校長
		山本 俊樹	教頭
		酒井 寛	入試広報主事
		南谷 義光	男女共学部主事
		西島 麻里子	宗教主事
		早川 信彦	教務主任
		渡辺 龍一	生徒指導主事

3 学校評議員の職務

校長の求めに応じて、学校運営について意見を述べる。

(済美高等学校学校評議員会規程第1条第2項)

4 会の開催 ・日時 2011年3月9日(水) 午後1時30分から午後3時15分

・場所 小会議室

・出席者 学校評議員4名と学校教職員4名

5 会の概要

(1) 校長挨拶

- ・出席の御礼と学校教育の近況
- ・今年度教育環境整備を行った箇所を見学していただきたい。
- ・学校評価のまとめをお願いしたい。

(2) 教育環境整備箇所の見学(自学自習室、合宿室、体育館トイレ)

(3) 評議員会

① 議長の選出(学校評議員規程第7条3)

藤沢氏を選出。

② 議事(同規程第8条)

・2010年度 本校教育のまとめ(成果と課題)

(ア) 生徒・教職員の状況のまとめ

(イ) 2010年度の学校運営における主な取り組み

(ウ) 学校教育の成果と2011年度の課題

(エ) 2010年度 教育指導の方針と重点(まとめと2011年度への課題)

・自己評価、関係者評価のまとめ報告(山本)

・2010年度学校教育についてのご意見

ご意見については別紙のとおり。

③ 閉会の挨拶(校長)

### 2010年度 第3回学校評議員会のご意見

- ・羽島市からの入学生については制服を岐阜まで購入に来なければならない。入学生も多いことから羽島市にも購入できる店があると良い。また、制服を取り扱う店が出来れば学校のPRにも繋がるのではないかと。  
⇒今年度からというのは無理かもしれないが早急に対処したい。
- ・部活動の参加率を増やすのがよいのではないかと。  
⇒全員参加には問題は2点ある。①指導者の問題。②色々な状況下でアルバイトをする生徒の実態。しかしながら、来年度は部活の日を設けるなどして全員が参加するように努力をする。
- ・アルバイトは公立私立問わず許可されているのか。  
⇒本校では、本当に必要な場合のみ、保護者からの申し出により許可をしているのが実態。
- ・3年生になって急に退学・転学をするのか。  
⇒不登校等による退学・転学が多く、粘り強い指導を継続し、結果として3年生になって退学・転学することになる。
- ・私学はその学校の特色を生かすことにより伸びてきている。  
⇒憧れの学校となるように努力したい。
- ・アルバイトをしている生徒の状況など具体的資料で分かりやすく、校長先生のきめ細かい指導に驚いた。
- ・生徒数が増加しているにもかかわらず生徒数が前年比-11になるのはなぜか。  
⇒入学生数が増加しても、2・3年生が前年度より減少すればマイナスになることもあります。
- ・生徒会活動が活発であるのはどこでわかるのか。  
⇒済美祭の取り組みが素晴らしかった。また、各種委員会や入試広報でのボランティア活動を見ればわかる。何よりも今年度は生徒会長（前期・後期）に恵まれたおかげであり、生徒会会則の見直しも50年ぶりに出来そうである。
- ・教員及び生徒の評価が上昇したにもかかわらず、保護者の評価が減少した要因は保護者の評価が厳しくなったのではなく、将来を真剣に考えて本校に入学させた保護者が多くなったのだと思う。即ち、保護者の学校に求めるものが大きくなったのではないかと。今までの済美高等学校に対するイメージとは違って来たのではないかと。保護者と子どもの会話がどれだけあるのか疑問な面もある。  
⇒学力保証等学校教育について上滑りな面もあるので今後とも改善をしていきたい。
- ・先生の自己評価と生徒の自己評価が一致しているのが良い。
- ・済美だよりはどこへ配布しているのか。立派なものであるのですべてのところに配布すると学校のPRにもなるのではないかと。  
⇒PTA会報に相当するものであるから基本的にはPTA会員に配布であるが、厚見公民館などに置いていただけるとありがたい。